

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

清水小	学校	児童数	65
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.51	16.93	28.77	39.30	48.77	9.18	145.35	19.00	47.90
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.77	18.32	33.95	38.95	44.27	9.18	142.05	11.86	54.77
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

○男子は20mシャトルラン、50m走で全国・大阪市平均を上回り、反復横とびは、大阪市平均を上回った。握力、上体起こし、長座体前屈、立ち幅とび、ソフトボール投げは大阪市・全国平均を下回る結果となった。

○女子は上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、50m走で全国・大阪市平均を上回り、握力、立ち幅とびは、大阪市平均を上回った。長座体前屈、ソフトボール投げは、大阪市・全国平均を下回る結果となった。

○体力合計点においては、女子は全国・大阪市平均を上回った一方、男子は全国・大阪市平均を下回った。男女ともに20mシャトルラン、50m走は、全国・大阪市平均を上回っており、「走」に関する力が身に付いていることが分かった。長座体前屈は男女ともに、全国・大阪市平均を大きく下回っており、柔軟性に課題があることが分かった。

○児童質問紙の「運動やスポーツをすることは好きですか。」の項目で肯定的な回答の割合は、男子が97.7%、女子が91%であり、男女とも全国・大阪市平均を上回っている。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が23.3%、女子22.8%と全国・大阪市平均より多い。運動の大切さについては理解しているが、実際に体を動かすことにはつながっていない児童もいる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「夢・授業」や区役所の運動能力サポート訪問などでトップアスリートや外部講師を招き、走り方や跳び箱、なわとびなどの指導を受けた。校内では、業間体力づくりの取組として、かけ足やなわとびを行ったり、学級でみんな遊びに取り組んだりした。また、業間や昼休みに南運動場を開放して、運動に親しみ、体を動かす機会を増やすよう正在していく。また、体育などの運動で使う器械・器具の整備を行っている。これらの成果として、男女ともに体を動かすことが好きになり、運動に取り組む機会の増加につながっている。今後は、柔軟性を向上させるために体育科の授業でストレッチの時間を確保したり、体の曲げ伸ばしや様々な部位を使って動きを取り入れたりするなど、各学年の実態に合わせ、継続的な取組を進めていく。